



善正寺だより

人間万事塞翁が馬

今回は若院(潤爾)が担当させていただきます。1月21日朝突然母の携帯から「お父さんが散歩中足を滑らせて2メートル下の用水路に転落。脚立を持って助けに来て」という電話でした。

近くの人にも協力依頼しましたが、素人では救助が難しいので、救急車とレスキュー隊を呼んで、やっと救出できました。住職は四日市市立病院へ搬送されて、応急処置受け、様々な検査を受けて夕方帰宅しました。

翌日、再び病院で詳細な検査を受けたところ、鎖骨とあばら骨、肩甲骨など数か所が折れていることが判明。

1週間後に入院して全身麻酔の手術を受け、その後リハビリに励みます。

まさかの出来事にショックを受けた住職でしたが、自宅待機中に様々な人から励ましのお言葉を賜り、勇気付けられました。

ところで「人生は思い通りにならぬもの」と常々お聞かせ頂きますが、尊敬する先生のお見舞い文に「人間万事塞翁が馬」と教えられました。

意味は「人生の不幸は予測できず、良いことも悪いことも次々に変化する



〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

為に、安易に喜んだり悲しんだりするべきでない」という故事成語です。

言葉の意味は、「古代中国で老人の馬が逃げたところ、その馬が優れた別の馬を連れて帰ってきた。今度は老人の子供がその馬から落ちて足の骨を折ったが、そのおかげで兵役を免れて命が助かった」というお話です。

言い替えると「禍福はあざなえる繩の如し」。禍福は予測できないものではありますが、「この度の災難を、「塞翁が馬」を教訓にして、家族一同協力して乗り越えますので、皆様の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

人間万事

塞翁が馬



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

ブログ総訪問者数50万人達成

☆行事ご案内☆

◇春季永代経 講師:加藤学師(桑名)

3月14日(土)午後1時半(住職骨折リハビリ中の為)

初日一日だけ) お経開きは午前10時半(招待者)

◇三全仏教婦人会 3月20日9時 光念寺様

歌と踊りの集い3月26日(木)午後1時(初来演)

誰でもお誘い合わせてご自由にお越し下さい、無料

◇三重組十三日講、3月13日午前・午後 真楽寺様

◇初参式&降誕会4月18日(土)午後1時

三全仏教婦人会主催、赤ちゃん大募集中!千円

善正寺ホームページ&ブログ「住職と坊守のつれづれ

日記」総訪問者数50万人達成!開設18年で総投稿数

11702一日平均78人寺報は33年毎月現在第387号

新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を

法事場所でお困りの方本堂使用可、日時ご相談下さい

☆ 写真アラカルト ☆

3/26 歌と踊り



出演者打合せ

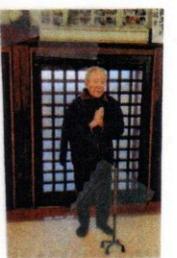


1・13~16まで連続4日間御正忌報恩講お朝事

今年は庫裏で勤める。リハビリは本堂内を杖歩行



1/25 長男一家・次男一家お見舞いに勢揃い



笑顔の住職

坊守スケッチ

災難はある日突然に

「災難はある日突然やって来る」と聞いていましたが、我が家にも該当するとは予想外でした。

1月21日朝から我が家の事情は一転。当初は楽観的に考えていましたが、住職の骨折は長期戦を覚悟しなければなりません。今後のお寺の行事をどうするのか？お参り依頼を如何に勤めるのか？働き盛りの兼業する若院が、寺と大学の仕事の板挟みで苦勞するのは必至。当然二人の坊守の順番が回ってきます。資格はあるものの、殆ど僧侶経験のない私達は、早速僧侶用の必需品確認と、お勤めの仕方、作法などを復習して、徐々に実地訓練をしなければなりません。

私も膝関節が痛むなどと弱音を吐いている場合ではありません。折りたたみ式正座器を持参してお勤めに臨もうと思います。得度をしたのは私が30年前、若坊守がコロナ期間中。一人とも在家出身なので、仏教の勉強は中央仏教学院の通信教育で学び、ご本山から得度資格を頂戴しました。僧侶資格はあるものの、出番は少なく、ペーパーボードライバー同然で過ごしてきました。

しかし寺に居住して私は52年、若坊



守は15年経ちます。その間御門徒様方との交流やお付き合いの仕方を教えて頂きました。

恥ずかしいことは承知の上ですが、背中ピンチヒッターの背番号を貼り付ける気持ちで、初心に返り僧侶の務めを果たしたいと思います。「ピンチはチャンス」と申しますが、この試練を良き方向に変えていきます。どうか温かい目で二人の坊守をお育て下さいませよう。お願い申し上げます。

ホットニュース

※住職は1・21右上半身骨折の怪我。1・29に市立病院で手術。2・1に退院。一日置きにリハビリ通院しています。ご心配をおかけしましたが、復帰できるように努めます。しばらくご不便をおかけしますがご容赦下さい。

※春季永代経は3月4日(土)の今回は一日だけ、法座は午後1時半から。お誘い合わせてお参り下さい。

※3月26日(木)午後1時『歌と踊りの集い』初出演の二人をお迎えします。ご自由に誘い合わせてご参加下さい。

若坊守の1111日記No.134

今年もこの季節がやってきました。昨年もお紹介しましたが、長男(中2)の学校では恒例の百人一首大会が開かれました。

昨年は予選をグループ一位で突破、準決勝ではわずか一枚しか取れずに敗退。今年は昨年の成績を上回ることに目標でした。

準決勝は百句中、五十一〜百番の五十枚で争われます。長男の苦手範囲で重点的に暗記、練習しました。ちょうど毎日小学生新聞に競技かるたの記事が掲載されており、全日本かるた協会の「下の句が書かれた取り札を見て上の句をイメージすることが大事」というアドバイスが役立ちました。

自宅での練習には上の句を自動で読み上げてくれるアプリを使い、何度か練習していました。どこにどの取り札が並ぶかは都度異なるので、それも覚えるわけで、私にはキャパオーバーです。そして予選を順調に突破、準決勝をグループ二位で通過し、決勝戦へ進みましたが「競技かるた部」の皆さんには敵わず。しかし目標は達成できたので、あっぱれ！ということでしょうか。鎌倉時代から現代まで歌い継がれる「小倉百人一首」、まだまだ、まだまだ奥が深そうです。



俳壇 & 柳壇

真ん中や吾子のしぐさはお正月 釋妙水
初日の出テレビに拝む独り居る
振袖のすそはしよればブーツかな

門口に小さく並ぶ雪だるま 釋楽邦
咲き満ちて荒畑灯す黄水仙

石段をふらふら昇り初詣 釋住安
西の山うつすら白く初景色

大鍋で大根炊きてふるまいぬ
地に降りていよよ艶めく紅椿 釋妙梅

雪形にそろそろ種蒔き促され
雛祭りお内裏様だけ飾る祖母

残り飯畑の溝へ寒施行 釋妙鈴
水仙の花の葉覗く白い原

カトレヤやスマホで届く寒見舞
雪うさぎ冬青空で鬼ごっこ 釋香誼

福豆を食べきれずほど歳重ね
林道の脇をランナー風来 釋秀龍

手袋に雑木林の甘き香よ
からつぼの駐輪場と冬の雲

術後の朝目覚めの窓に雪景色 釋清風
吹雪裡や見舞いの子らの声高し

オペ遂に來たり春待つ動かぬ身

ご近所の詩吟にポチは唱和して
泣く場所を兼ねて映画を見に行くの
(い藤をか志)

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」387号をお届けします。◇大怪我、手術を経て何とか編集に加われるまでに回復しました。仏祖のご加護、有縁の皆様のご声援のおかげです。◇寺務、法務は暫く若院に委ね、カムバック(復帰)目指します。◇春寒の候、皆様ご自愛念じ、合掌。

今年の御正忌報恩講お朝事が終了したのも束の間
我が家に突然の災難が襲いました。大風邪も治って
「今朝は重坂山へ散歩する」と住職が宣言。「珍しいと
感心しながら仏教讃歌や和讃を唱えて一緒に歩き
ました。散歩の帰路、きれいに草が刈り取られた散歩道
を初めて歩きました。最後が石段になり、私は難なく上
かれたのに振り向くと住職は足が上がり、24下の用水
路に転落。気が動転して住職が大怪我をしたとは
思わず、すぐ助けられると勘違い。しかし結局救急
車のお世話になりました。市立病院で手当を受け
詳しい検査の結果、右上半身が数か所骨折、手術
して入院。リハビリが必要と診断されました。復帰
できるときまで相当の日数がかかりそうです。しかし乗り越え
られない試練は無いと考え、家族が一丸となってできる
限りの協力体制で臨みます。私と若坊守はにわか
僧侶としてデビューします。孫達も「ジイちゃん頑張れ」
とエール。しばらくの間、皆様にご不便をおかけしま
すか。どうかお許しを頂きたいと思えます。住職は
「自分も親鸞鳥様と同じ90歳まで残り10年頑張る。
今回のことを闘病体験記として著す」と言っています。
春季永代経は3月14日(土)午後の一日だけ。3月
26日(木)午後「歌と踊りの集い」。4月18日(土)「初巻
式&降誕会」行事が続きますが、ご協力よろしくお
願い申し上げます。合掌

令和八年三月

善正寺坊守拜